

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



樹の平にある本陣附近

東海道第五十宿

水口 みなぐち

東海道中でも珍しい三筋の道がある水口宿。古い面影のある細道りがきれいに三本並んで独特の雰囲気である。城に碧の水をたたえた小堀遠州作の城、碧水感も美しい。天保一揆の記念碑もこの地方の江戸時代をしのぶ史跡。



東海道 水口宿 江戸三次

この宿は三百六十日旅入にとせう汁の飯をふる所なりと万治版東海道名河記には書いているが、本陣は千瓢を干す女を揃っている。

水口宿は天正十三年(一五八五)に大岡山に築かれた岡山城の城下町。関原の戦いの後に落城。寛永十二年(一六三四)徳川家光が上洛する際の居館として新たに水口城が築かれ



水口はその城下町として栄えた。

見どころ
 芭蕉句碑：水口は芭蕉の故郷伊賀に帰郷する時、江戸、京を往来する時など、しばしば立ち寄ったため、門人友人が歎いた。

磨崖仏：野洲川の河原に突き出した岩に石仏二体が刻まれている。

研又旅館創業元禄十三年(一七〇三)を、舗旅籠